


大腸切除術を受けらる方へ 患者氏名( ) 手術日 月 日 主治医( ) 担当看護師( )

	準備	2日前( 月 日)	1日前( 月 日)	当日( 月 日)	1日後( 月 日)	
				術前★	術後	
達成目標	<p>&lt;持ち物&gt; 別紙「持ち物について」 をご参照下さい</p> <p>&lt;禁煙について&gt; 肺合併症を起こす原因になる ので、手術前は禁煙して頂くよう お願い致します</p> <p>&lt;その他&gt; ①手術の時間は前日の夕方 決まります</p> <p>②入院後主治医からの説明の 際、ご家族の同席をお願いします</p> <p>③手術当日のご家族の待機に ついては別紙参照下さい</p> 	手術の必要性を理解し、手術準備ができる		精神的、身体的に安定した状態で手術に望むことができる	①全身状態が安定している ②出血がない ③創痛のコントロールができる	①全身状態が安定している ②創痛がコントロールできる ③歩行が出来る ④水分摂取が出来る
薬剤		昼に下剤を内服します。	昼に下剤を内服します。			鎮痛剤の内服が開始になります。
注射				朝6時前後から点滴(24H)開始します。		
処置		平日は9時～ 休日は9時半～ 回診がありますので検査 以外は病室でお待ち下さい。	お臍の処置を行います。	当日朝までの排便が不十分のときは 看護師に伝えて下さい。	酸素マスク、心電図モニター、 自動血圧計をつけます。	9時から廻診があります。
検査			適宜検査をおこないます。			適宜検査をおこないます。
安静度		安静度の制限はありません。			ベッド上安静となります。	手術後の第一歩行は看護師と共に 歩行します。その後も状態が安定 していれば歩行は可能です。
食事/水分			夕食後から絶食です(お茶・水に 関しても同様)。夕食後から朝6時 までにOS-1を飲んでください。	朝6時以降は絶飲食です。		水分(水・お茶)500ml/日まで可能 です。
留置物			※OS-1は塩分糖分の組成で吸収 がよいとされているため他のもの は飲まないように。		尿管・お腹に管が入っています。背 中から痛み止めの管が入っています。	尿道カテーテルは歩行可能であれば 抜去されます。
看護			シャワー浴をしましょう。			体を蒸しタオルで拭きます。
観察			手術に備え、血圧など全身の状態 を観察します。	血圧など全身状態の観察をします。	麻酔の覚醒状態を観察します。血 圧など全身状態や、創の状態を観 察します。	血圧など全身状態、創の状態の チェックを続けます。 ドレーン(管)の排液の性状を確 認します。
教育・説明		病棟オリエンテーションを行 います。手術に必要な物品 の説明と確認を行います。 手術承諾書を提出してくだ さい。持参薬がある場合、看護 師へ提出してください。薬剤 師が確認をさせていただきます。	麻酔科医師より術前の説明があ ります。 主治医より手術について説明があ ります。手術室、ICUの看護師の訪 問があります。	手術前に排尿を済ませて下さい。 眼鏡・時計・指輪・義歯・コン タクトは外してください。手術室 まではパジャマのまま歩いて出 棟します。ご家族の方は出棟ま で病室にお越しください。手術 中ご家族は、病室またはデイル ームでお待ちください。	痛みのあるときや、眠れないとき はお知らせください。 術後は痰を飲み込まないようにし 、痰を出すようにしましょう。ま た深呼吸をしましょう。 手術後ご家族へは主治医より手 術の説明があります。	歩行は腸の動きを促進します。痛 みが強くなければ積極的に歩行 するように心がけましょう。

※患者様の状態によって変更する場合がありますのでご了承ください。尚、ご不明な点がございましたら看護師までお尋ねください。  
※入れ歯、ジェルネイル、カツラ、アクセサリ、コンタクトは手術当日、処置等で必要な際は取り外しをお願いします。また入院中のお化粧品もご遠慮下さい

2日後( 月 日)	3日後( 月 日)	4日～6日後( 月 日～ 月 日)	7日後( 月 日)	8日後～13日後( 月 日～ 月 日)	14日後( 月 日)
痛みが緩和し、離床が行える	食事が開始でき、症状なく摂取できる	問題なくドレーン(管)が抜去できる。	縫合不全がなく、排便のコントロールができる		退院後の注意点が理解でき、不安なく退院を迎えることができる
9時から廻診があります。	→	→	廻診時、傷を止めているホッチキスを取ります。	廻診があります。 →	
制限はありません。					
水分制限はありません。	治療食が始まります。				
		ドレーン(管)の排液が問題なければ抜去されます。			
体の管が抜けるまで体拭きや洗髪を行います。		管が抜ければシャワーができます。			
	食事開始により、腹痛や吐き気が出ないか注意して観察します。	ドレーン(管)が抜ければ、抜去部にガーゼを当てます。排液が止まれば防水テープを貼ります。	食事開始後、排便があるかどうか観察しましょう。必要時下剤の内服をしていただきます。		
	食事開始の際は、無理せずに食べるように心がけましょう。				退院時次回の外来受診日を説明します。退院後の生活について、退院後は規則的な排便習慣を心がけましょう。腹痛・嘔吐・お腹がはる・排ガスが出ないなどの症状があればすぐに受診しましょう。

